

報 廣 しばた

7 since 1961
2017.JUL
No.669

プールで爽やかな笑顔

今年になって初めてのプールの授業。
プールの水に足をつけると、子どもたちは大はしゃぎ。
涼しげな水しぶきと爽やかな笑顔が
夏の暑さを忘れさせてくれそうです。

【写真：6月20日(火)東船岡小学校】

気づき・見守り・支えあい

みんなですべて支える認知症

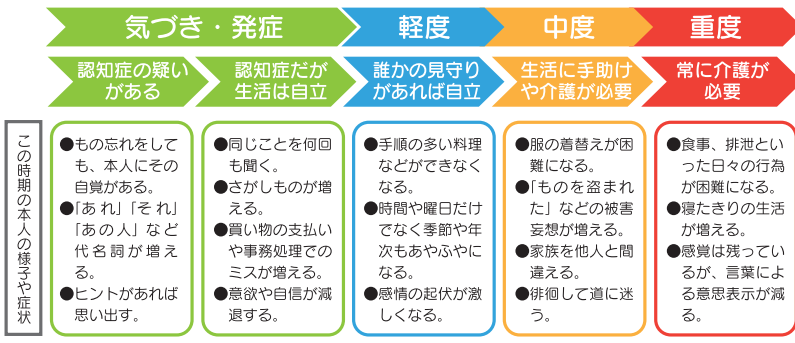
厚生労働省によると、平成37年には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれています。

平成29年4月現在、町の65歳以上の高齢者10,580人のうち町の介護保険の要介護認定者は1,592人。そのうち認知症である方が994人となっています。

認知症は、誰もが発症する可能性があり、また、関わることになるかもしれない病気で、

認知症の症状が進行すると、家族だけで支えていくのは難しく、周囲の正しい理解や見守り、声かけが認知症の方の生活を支える鍵となります。

○認知症はどんな病気？
記憶障害やさまざまな状



況に対する判断が不適切になるなど、生活する上での支障が少しずつ増えていく、誰にでも起こり得る「脳の病気」です。

問福祉課 ☎55-2159

○認知症ケアパス

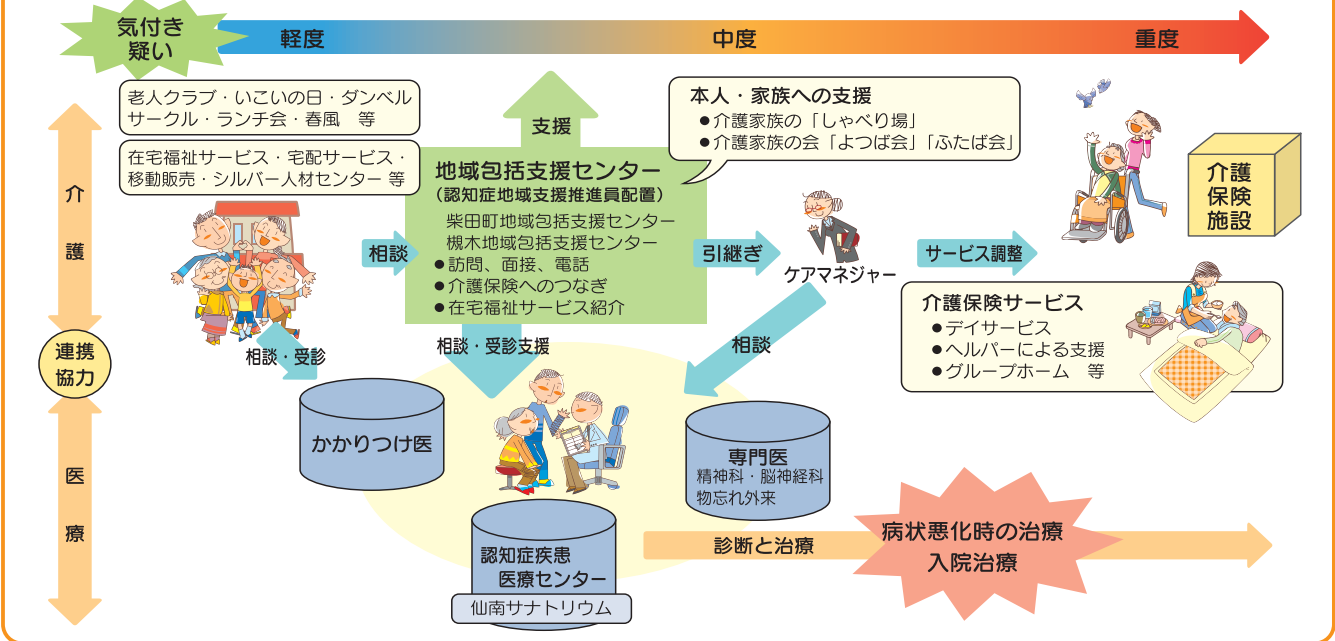
認知症を発症したときから症状が進行していく中で、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスを受ければよいか、地域の中での生活の不安が少なくなるように一目で分かるようにしたものです。

認知症の進行の度合いに応じて、手伝ってくれる人やサービス、相談する場所があります。早期の対応でその後の症状の緩和や進行の遅延が期待でき、今後の備えを余裕をもって進めることができます。



柴田町 認知症ケアパス ～認知症の進行に合わせたケアの流れ～

平成29年2月改訂



ふたば会 認知症の方が夫婦で参加する会 開催：毎月第2火曜日 場所：柴田町地域包括支援センター（船岡駅前）	よつば会 介護家族の会 開催：年3回 場所：柴田町地域包括支援センター（船岡駅前）
認知症の方・家族を支える活動	
駅前しゃべり場 開催：毎月第3木曜日 場所：柴田町地域包括支援センター（船岡駅前）	介護家族のしゃべり場 開催：毎月第1水曜日 場所：柴田町地域福祉センター（船岡字中島）
介護をする方もされる方も参加できる会	

○孤立しない、させない
 交流の場を活用しよう
 悩みや不安を分かち合える仲間がいることは、非常に心強く、安心につながります。また、安心できる場に集うことで、リフレッシュして、新たな気持ちで日常に向き合うことができます。ようになります。

町では、認知症の方とその家族を支える活動として4カ所の交流の場を設けています。（左図）

○認知症地域支援推進員
 認知症に関する専門の研修を受け、町の認知症に関する取組みについて中心になって考える役割を担っています。柴田町地域包括支援センター（☎86-3340）、槻木地域包括支援センター（☎56-5764）、柴田町役場福祉課に配置されています。認知症の方を支える人が元気で暮らせることも大切です。悩みを抱え込まず、相談しましょう。

○オレンジカフェ
 家族同士の交流に加えて、地域住民、医療・介護の専門職、認知症に関心がある方などが気軽に集い、交流する場として全国的にも広がりを見せる「オレンジカフェ」があります。

町では、グループホームゆう柴田（剣崎地区）で「お茶っこ喫茶ゆう遊会」を月1回開催しています。今後は、町内の別の場所でも開催する予定です。



○地域での取組み
 認知症を正しく理解し、偏見を持たずに認知症の方やその家族を見守る応援者が「認知症サポーター」です。町内の認知症サポーター養成講座受講者は2,000人を超えました（平成29年3月末時点）。

平成28年度に認知症サポーター養成講座、フォーアアップ講座を行政区として初めて受講した第11A区の行政区長、民生

委員に講座の感想や地域での取組みについて伺いました。

「高齢者が増加する中で、民生委員のサポートでは限界があるため、受講しました」

「高齢者が高齢者を介護する社会で大変だ」

「家族や周囲の人が認知症になる前に受講してよかった」

「定期的に高齢者の一人暮らし世帯などを訪問していますが、フォロアアップ講座で、相手の顔を見て話しかけることが大切だと知り、心がけています。認知症の方やその家族を支え、役立てれば良いと思います」

第11A区の見守り活動

第11A区では、防犯、防災のため、毎月パトロールをしています。メンバーは町内会理事・班長、婦人防火クラブ理事などです。2グループ編成で、地区全体



を「戸締り用心、火の用心」の掛け声とともに巡回し、一人住まい、高齢者のみの世帯の見守りや防犯灯の球切れなども見て回ります。また、町内会だよりを毎月、各家庭に配布していますが、訪問することで交流が生まれ、地域の人の見守り活動の一つにもなっています。

高齢者からは、地域の中で何気なく見守ってくられる存在はありがたいと言われています。



平成29年度 自治功労者表彰式 町政功労者

町政の振興・発展に貢献された方を表彰する「平成29年度自治功労者・町政功労者表彰式」が6月10日(土)に槻木生涯学習センターで行われました。式典では、町長から個人や団体、事業所に感謝状が贈られました。

表彰を受けられた方は次のとおりです。(敬称略・順不同)

地方自治の振興に貢献

水戸 義裕 (下名生字西田)
廣澤 真 (船岡西二丁目)

【多年にわたり都市計画審議会委員として地方自治の振興に貢献】
大沼 迪義 (成田字坂元)

【多年にわたり文化財保護委員として文化財保護の啓蒙推進に貢献】
木村 邦雄 (船岡中央三丁目)

【多年にわたりスポーツ推進委員として体育の振興に貢献】
大槻 裕喜 (下名生字旭川)
加茂 孝志 (船岡東四丁目)
加茂 由美子 (槻木下町三丁目)

【瑞宝小綬章】地方自治功労
加茂 和一 (船岡東三丁目)

【旭日双光章】土地改良事業功労・地方自治功労
大沼 喜昭 (船迫字土平)

【瑞宝双光章】防衛功労

伊藤 恵夫 (船岡字東町の口)
恵原 猪知郎 (西迫四丁目)
小笠原 孝 (船岡字七作)

【瑞宝単光章】防衛功労

菅野 宏二 (船岡新栄三丁目)
沼田 平治 (下名生字大畑)
平間 一夫 (船岡中央三丁目)

【瑞宝単光章】消防功労

安藤 國光 (船岡中央二丁目)
百々 喜明 (富沢字宝龍)

【瑞宝単光章】郵政業務功労

眞壁 正博 (槻木東二丁目)

議員礼遇者

【町議会議員として地方自治の振興に貢献】
加藤 克明 (船岡字三ヶ内)
我妻 弘國 (船岡中央三丁目)
佐々木 守 (西船迫一丁目)

自治功労者

【多年にわたり町議会議員として

笠松 光明 (下名生字大畑前)

大沼 民夫 (下名生字清水)

水戸 茂芳 (下名生字大畑前)

小笠原 俊郎 (船岡字久根添)

後藤 義明 (上名生字新大原)

小池 淳一 (下名生字新大畑)

今野 三男 (中名生字七草)

佐藤 利昭 (中名生字六角前)

笠松 浩見 (中名生字宮前)

鎌田 満雄 (槻木駅西三丁目)

水野 今朝治 (四日市場字坂本前)

平間 宗信 (海老穴字海老沢)

佐々木 久雄 (富沢字中丸)

高橋 一 (入間田字大窪)

平間 秀市 (上川名字館山)

星 孝志 (入間田字兄弟内)

大沼 公平 (上川名字館山)

平間 清次 (富沢字宝龍)

大宮 光広 (入間田字屋敷沢)

熊谷 孝之 (富沢字松本)

岡崎 道男 (入間田字鴻ノ巣)

日下 好則 (富沢字宝龍)

村上 明博 (入間田字又振)

平間 敦 (葉坂字下道地)

小林 浩一 (葉坂字戸ノ内)

平間 正弘 (葉坂字竹ノ内)

及川 薫 (西船迫一丁目)

大沼 巖 (東船迫一丁目)

加茂 雄一 (船迫字釜ヶ入)

菊地 章 (船迫字千代川)

町政功労者

【地方自治の振興に貢献】

【役場庁舎会議用テーブルを寄贈】

佐藤総業株式会社 (船岡字清住町)

【多年にわたり都市計画審議会委員として地方自治の振興に貢献】
船山 良子 (槻木上町一丁目)
野口 敬志 (西船迫三丁目)
大浦 玲子 (槻木下町三丁目)

【産業開発、経済の振興及び観光の開発に貢献】
【船岡字川端地内の「桜の小径」に八重紅しだれ桜苗木を植樹】
柴田町さくらの会

【多年にわたり商工振興審議会委員として産業開発、経済の振興及び観光の開発に貢献】
児玉 芳江 (船岡新栄二丁目)

【船岡城址公園内「里山ガーデンハウス」の看板一式を寄贈】
有限会社カンノ広芸 (大河原字錦町)

【船岡城址公園内に紫陽花などの

花木を寄贈

八巻 ヨシノ(丸森町字上林東)

■教育・文化・体育の振興に貢献

【多年にわたり教育委員として教育、文化又は体育の振興に貢献】

牛澤 典子(西船迫二丁目)

【槻木小学校へ吹奏楽部楽器購入費として多額の金員を寄附】

内嶋 昌博(槻木白幡五丁目)

【多年にわたり社会教育委員として教育の振興に貢献】

水上 國夫(上名生字前川)

相澤 和子(船岡中央二丁目)

小嶋 弘子(槻木上町二丁目)

【しばたの郷土館へ油絵を寄贈】

大沼 郁夫(大河原町字町)

【学童野球の発展に尽力し体育の振興に貢献】

門間 正人(船岡土手内二丁目)

【多年にわたり民生委員・児童委員として民生の安定に貢献】

飯淵 紀子(船岡西一丁目)

佐藤 弘子(船岡新栄五丁目)

富樫 千津子(船岡新栄二丁目)

星 公子(槻木新町一丁目)

青野 幸作(富沢字岩崎)

石田 照子(船岡中央二丁目)

飛田 妙子(船岡東四丁目)

柴田 礼子(松ヶ越二丁目)

大沼 一郎(上川名字押茂)

鴫田 一雄(下名生字剣塚)

【社会福祉資金として多額の金員を寄附】

関 正忠(船岡字新生町)

【敬老祝品として物品を寄贈】

株式会社メガネの相沢(仙台市青葉区)

■保健衛生の向上に貢献

【多年にわたり町医として保健衛生思想の向上と健康保持増進に貢献】

小田部 岳雄(槻木白幡三丁目)

【多年にわたり健康推進員として保健衛生の向上に貢献】

星 登代子(船岡東二丁目)

伊藤 かつ子(松ヶ越二丁目)

【多年にわたり国民健康保険運営協議会委員として保健衛生の向上に貢献】

黒田 清(上名生字新宮前)

水原 和子(入間田字古内)

■治安の維持・防災に貢献

【多年にわたり消防団員として消防防災に尽力】

佐久間 光洋(船岡字若葉町)

大内 範雄(船岡土手内二丁目)

佐藤 泰志(船岡西一丁目)

日下 友博(船岡土手内二丁目)

後藤 正一(船岡東三丁目)

島貫 辰一郎(船岡中央三丁目)

渋谷 融(船岡中央二丁目)

後藤 利春(船岡中央二丁目)

井上 薫(本船迫字下町)

日吉 一郎(船岡中央二丁目)

井上 正嗣(船岡字東原前)

猪股 正美(船岡字大住町)

兜森 義則(下名生字旭川)

尾形 裕一(船岡字迫)

加藤 俊男(上名生字八幡前)

鈴木 友幸(下名生字剣水)

相沢 弘隆(下名生字剣水)

山城 博文(船岡字上大原)

水上 孝一(船岡南二丁目)

遠藤 正樹(船岡字東原前)

松田 克典(上名生字前川)

跡部 政一(船岡字七作)

平間 達也(下名生字清水)

桃園 栄二(下名生字大畑)

加茂 太(下名生字大畑)

平間 樹夫(下名生字新大畑)

田村 朋明(下名生字剣水)

高橋 進一(大河原町字新青川)

齋藤 善幸(四日市場字雨沼)

志賀野 次男(槻木字遠島入)

渡邊 英幸(仙台市太白区)

遠藤 正明(四日市場字西台前)

菊地 正光(槻木白幡二丁目)

今野 文彦(四日市場字神明)

佐藤 達哉(四日市場字道下)

加納 利美(船岡東四丁目)

鎌田 一(海老穴字丸山)

高橋 謙一(海老穴字清了地内久保)

平間 勝美(海老穴字一本松)

大久保 康彦(四日市場字川名沢)

加藤 盛(四日市場字坂本前)

加藤 憲(四日市場字新宮市)

高橋 智(入間田字前原)

大沼 之英(上川名字押茂)

平間 一彦(入間田字関根)

加藤 晃(富沢字赤柴)

坂本 由明(槻木上町三丁目)

高橋 喜一(富沢字八幡)

三浦 誠(富沢字中丸)

高橋 孝志(入間田字内海道)

平間 修(入間田字迫)

菊地 克浩(入間田字屋敷沢)

高橋 信弘(入間田字大畑)

加藤 憲浩(入間田字雨乞)

駒板 正則(成田字三河内)

三浦 進一(成田字寺前)

岩間 正二(成田字倉元前)

大宮 善和(成田字内田)

平間 浩司(葉坂字音見坂)

佐藤 繁政(葉坂字下道地)

山家 裕一(成田字三河内)

大宮 健(成田字坂ノ下)

加茂 博幸(成田字左内)

平間 誠(成田字内越)

関 哲也(本船迫字下町)

安藤 昭彦(西船迫二丁目)

扇 勇樹(本船迫字下町)

大沼 春男(船迫字荒屋敷)

櫻井 正雄(船迫字千代川)

齋藤 和弘(東船迫二丁目)

【多年にわたり防犯実動隊員として防犯活動に尽力】

森 一好(船岡中央三丁目)

水戸 美佐子(槻木白幡三丁目)

加茂 康子(上名生字新大原)

小笠原 勇(船岡字久根添)

■運輸又は交通の改良発達に貢献

【多年にわたり交通指導隊員として交通事故防止に尽力】

鈴木 ゆき子(西船迫四丁目)

清野 やす子(西船迫四丁目)

佐藤 公規(西船迫二丁目)

平間 祝子(槻木西三丁目)

佐々木 信太郎(槻木白幡三丁目)

加茂 由美子(槻木上町三丁目)

津田 仁一(船岡中央二丁目)



柴田町長 滝口 茂

夏休みに入ると、国際空港ターミナルは海外で過ごそうという方で溢れ、出国ラッシュが続くことでしょう。

海外でのバカンスには、

本当に心ときめくものがあるのですが、一方で、言葉が通じない不安もあります。私も何度か海外に出かけましたが、毎回出入国審査の際には緊張しますし、乗り物の乗り方やトイレの場所を探すのにとまどつてばかりいます。

また、旅行自体も現地の添乗員さんの後を付いて名所や旧跡、レストランを巡るだけになってしまい、自分一人で現地の人と会話をしたり、買い物をしたりといった体験をあまりしない分、旅の思い出が薄くなっているのが実情です。そのたびに、中学校や高校で、世界の共通語である英語をしっかり勉強しておけば良かったと悔やんでいます。

私が最初に英語に出会ったのは、昭和39年でした。その頃の英語の勉強は、読解や文法に重きが置かれた受験勉強のための英語だったように思います。

当時は、飛行機に乗って海外に行くことなどは夢のまた夢でしたので、英会話の必要性はあまり重視されていなかった

放課後英語楽校

のかもしれない。「英語の先生に、英会話を通じて外国人と会話する楽しさを教えていただいていたら、もっと英語が好きになっていただけたのになあ」と残念に思っています。

しかし、今はグローバル化の時代です。地方自治体においても、国際交流やインバウンド政策が、行政の守備範囲に入った時代です。子どもたちには、英語を自由に操り、世界で活躍できる人材に育ててほしいと願っています。

町では、教育長の発案で「SAKURA PROJECT」を現在進めています。子どもたちに英語を通じて、町の誇りである桜の魅力を外国人に伝えてもらおうとする試みです。

現在、各学校では放課後の40分間、英語で聞くこと、英語で話すことを中心とした「放課後英語楽校」を開いています。ここでは、英語で外国人と話してみたいという子どもたちが文字通り、目を輝かせて楽しく英語で交流活動を行っています。

来年の桜まつりには、「放課後英語楽校」で学んだ子どもたちが、大人の通訳ボランティアの皆さんと一緒に、外国人の方々を笑顔でおもてなししている姿が見られるものと期待しているところです。

郷土史めぐり

歴史は足下にある

柴田町文化財保護委員会

柴田町文化財保護委員会は、『しばたの歴史ガイド』を編集・出版しました。このガイドブックに網羅されているのは、94カ所の史跡です。扱った時代は、象の祖先にあたるシオガマゾウやミヨコゾウが闊歩していた2600万年前から、昭和14年（1939年）の第一海軍火薬廠開庁までです。

その間、縄文時代の早期末から前期初頭（約7,000年前）は、槻木の大部分が海の中だったこと、「七世紀から八世紀にかけて、太陽の村がある上野山丘陵に300基余りの小円墳が作られたこと」、「源頼朝が平泉攻めの途中で船迫の宿に兵を率いて逗留したこと」、「南北朝から戦国時代にかけて町には12の山城や平城が築かれていたこと」、「江戸時代には船迫と槻木は奥州道中（奥州街道）の宿場であり、船岡は柴田氏の居館と家中屋敷・町場を併せて「舟岡要害」と呼ばれていたこと」など、その豊富な内容に圧倒されます。

『しばたの歴史ガイド』を片手に、ご自分の足でその歴史の痕跡をたどってみてはいかがでしょうか。

『しばたの歴史ガイド』は、町内の小中学校、生涯学習センター、公民館、図書館などに備え付けられています。機会があれば、お手にとってご覧ください。





健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ36

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第36回のテーマは、「楽しくみんなで食卓を囲もう」です。

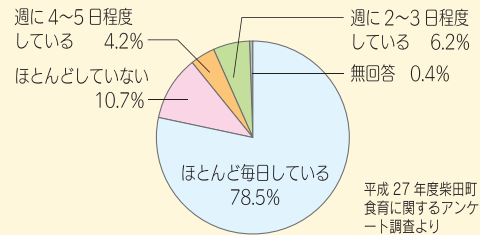
みなさんの食べることの「楽しみ」は何ですか?ただ黙々とおいしいものを食べることだけが「楽しみ」ではありません。だれかと一緒に食事を作ったり食べたりすることで、おいしさも楽しさもアップします。ただ食べるだけではない、家族や仲間と楽しく食卓を囲む機会を積極的に作りましょう!

チェック! こんなことありませんか?

- 一人で食事をとることが多い
- 食事を抜くことがある
- 食事の時間をあまり楽しめていない
- 携帯電話を見ながらなど“ながら食べ”をすることがある
- 誰かと一緒に食べていても会話があまりないことがある



Q. 1日に1度は家族の誰かと食事をしていますか?



一緒に食べる機会を作ろう!



- 食事作りや準備の手伝いをしよう
- テレビや携帯電話から目を離して、食事と会話を楽しもう
- 友人や職場の人など、家族以外の人とも一緒に食べよう
- 休日やイベントを利用して食卓を囲む機会を積極的に作ろう
- 鍋料理や大皿料理など皆で分け合う料理にしてみよう

みんなで食べたならおいしいね

誰かと一緒に食べる「共食^{きょうしょく}」には、「何をつくろうか?」「おいしかったね」と話し合うことも含まれます。

★家族や仲間と一緒に
できることから始めましょう★

- ・どんな食事にしようかを考える
- ・材料をそろえる(買い物、収穫など)
- ・料理を作る(下ごしらえ、調理、盛り付けなど)
- ・配膳、食卓の準備、声かけをする
- ・食べ終わったら後片付けをする
- ・感想を話したり、聞いたりする(次の食事のために、おいしかったかなど)



大人も子どもも楽しめる本がいっぱいです

<図書館で食育に関する本を読もう>

6月の食育月間にあわせて、柴田町図書館で食育に関する本を紹介しました。食育コーナーとしての展示は終了しましたが、図書館には食育に関する本がたくさんあります。

『食育』と聞くと、子どもたちに向けての取り組みと思われがちですが、大人にとっても“食べる”ことは、生きるためには欠かせない大切な営みです。

忙しい日常から離れて、子どもも大人も楽しい食育の本を読み、ぜひ図書館へ足をお運びください!

広 告

広 告

まちかど NEWS



「自分たちの町は自分たちで守る」NEWS 消防団消防演習



実地放水を行う団員

5月28日(日)、柴田町総合運動場で、柴田町消防団による消防演習が行われました。演習には、消防団員や婦人防火クラブなど約400人が参加しました。

平間泰夫団長が、「町民の財産、生命を守るという使命のもと、町民から信頼される消防団として努力していきたい」と訓示を述べ、団員による規律訓練、ポンプ車の操作訓練、実地放水など本番さながらの訓練が行われました。

開館7周年

NEWS 図書館誕生祭withしばたJam+Jam手作り市

5月28日(日)、柴田町図書館で図書館誕生祭が行われました。

柴田町図書館サポート委員会の協力による「古本市」のほか、「しばたJam+Jam手作り市実行委員会」による手作り市や体験コーナーも多数出店されて、大盛況となりました。

2週間に1度は図書館を利用してと言う船迫小学校5年生の藤原光希さんは、「アイシングクッキーの体験コーナーが楽しかったです」と話してくれました。



約1,000人が訪れました



花いっぱい運動は、秋にも行う予定です

NEWS 船岡駅から仙台大学まで環境美化「花いっぱい運動」

6月2日(金)、柴田町商工会女性部と有志の仙台大学生による「花いっぱい運動」が行われました。この運動は、町内商店街の環境美化、活性化を目的として商工会女性部により20年以上続けられています。今回は、船岡駅前から仙台大学までの大通りに花を植えたプランターを並べました。

有志として参加した仙台大学4年生の谷川僚(りょう)さんは、「ふだんお世話になってる町に、環境美化で貢献できればと思います」と話してくれました。

里山にっとう手仕事の技 しばた匠まつり



37組中22組が県外からの出店でした

6月3日(土)、4日(日)船岡城址公園で「第4回しばた匠まつり」が開催されました。県内外の陶芸や手芸、木工などの手工芸品作家37組による展示・販売が行われました。2日間で約3,000人が訪れ、来場者は職人の手仕事の技に目を奪われていました。駅の前で開催を知り、初めて来場したという剣崎地区在住の平間愛梨さん(25)、瑞季さん(21)姉妹は、「県外からも出店されていて驚きました。仙台などに買い物に行っても見られないような雑貨や小物がたくさんあって楽しいです。可愛いものがあり過ぎて買うものを絞り切れません」と匠まつりを満喫していました。

第26回白石・柴田親善交流 家庭バレーボール大会



柴田町、白石市ともに協会設立30年を迎えました

6月11日(日)、船岡町民体育館で「第26回白石・柴田親善交流家庭バレーボール大会」が開催されました。柴田町、白石市から20チームが参加し、親善試合ながらも白熱した対戦を繰り広げました。柴田町ビニールボール協会の佐藤澄好会長は、「この大会は、仙南地区で初めてビニールボール協会を設立した柴田町と白石市が、お互いの交流を深めるために毎年開催しているもので、楽しく試合をしています」と話してくれました。試合の後の懇親会も大いに盛り上がったことでしょうか。



南京玉すだれに盛り上がる敬老会の皆さん

長寿と健康を祝って 「山根地区敬老会」

6月11日(日)、第18B区集会所(山根集会所)で、「第13回山根地区敬老会」が行われました。当日は、招待された敬老会の会員61人のうち40人が参加し、3人に米寿のお祝いの贈呈が行われたほか、南京玉すだれや歌、手品などの趣向を凝らした様々なアトラクションが行われ、会場は終始和やかな雰囲気になりました。今回で3度目の招待となった高橋トキさんは、「敬老会の行事にはいつも参加しています。話し相手がいるのが何よりも楽しいです」と話してくれました。

広 告

広 告

ザ・フェスティバル in しばた 2017

日時/7月29日(土) 15:00~21:00 会場/陸上自衛隊船岡駐屯地
 ※小雨決行(荒天時は30日に延期)

問 ザ・フェスティバル in しばた実行委員会事務局(柴田町商工会内) TEL54-2207



こうほう 文芸

短歌

名木のあまた夏めくケアホーム
 介護士の眸やさしき薄暑かな
 葉桜の土手を歩けば鶯が
 川面に映える残雪の蔵王
 真剣な「眼」で子ら本選ぶ
 小学校の図書室静か

船岡 可沼 妙子
 船岡 伊藤タイ子

年重く忘れかけたる古里に
 せめて孫等の写真送りし
 華やかなパーティドレスゆらして
 元少女達いと元気なり
 幼きが最後の柩にうつぎ花を
 添える小さき手に涙あふる

本船迫 森田 眞六
 大槻 信吉
 船岡 沢田 順子

川柳

おらやんだこと遺影のじいちゃん笑ってる
 にわか雨隣りにねこが雨宿り
 孫の顔見分けられない運動会
 おばあの子守今では孫に手をひかれ
 アスリート結果良ければ金になる
 野球好き昔は巨人今楽天

船岡 臥竜の娘
 西船迫 下浦 智子
 西船迫 舟廻めぐる
 梶木 村上 紫寿
 梶木 大宮 二郎
 船岡 阿部美代子

葉書き値上げ川柳のうで伴わず
 恩返し? たった一粒庭の梅
 孫つれてエアリ行つたがついてけず
 ケアホーム仲間同士で支えあい
 かつかずに流れる思い胸に来る

西船迫 安ヶ平良三
 西船迫 三澤 精一
 船岡 小林 夢子
 西船迫 後藤 文子
 梶木 つきのき町子

俳句

それぞれの人生背負う花見かな
 木天蓼の銀の葉つばに身を託す
 アジサイに夜雨がそつと肩たたたく
 水滴に触るる銀河の鼓動かな
 梅雨の蝶消えし飛行機雲の果
 観音はいつも視点桐の花
 水無月や枯山水の石のこゑ

船岡 可沼 妙子
 西船迫 安ヶ平奈津枝
 船岡 安藤 節子
 石母田 星人
 鈴木 三山
 相馬 カツオ
 鈴木 幸子

そら豆の莢のでこぼこみそかごと
 青葉木菟蘭より暗き梢かな
 白菖蒲水に気品の影を置く
 しばらくは風の意のまま糸とんぼ
 愛妻は暑めの化粧夏美人
 母しのび口に含みしゆすら梅

鈴木 清子
 鎌形 清司
 小島 米子
 齋藤 善則
 葦神 葛
 西船迫 玉手みき子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで7月6日(木)まで応募ください。 問 まちづくり政策課 TEL54-2111

広 告

広 告



柴田町の 記憶 をたどって

毎年、夏を盛り上げてくれるお祭り。
昔から地区ごとに様々なお祭りがありました。



昭和30年8月、船岡銀座通り商店街の「七夕祭り」。
店の2階には、人形が動く「仕掛け」もありました。

昭和58年7月、富上地区の「天神こども祭り」。
子どもたちが手作りの旗を持ち、みこしをかつぎながら「ワッシヨイ・ワッシヨイ」と練り歩きました。



こども美術館



「レウス」(工作)

船迫小学校3年

坂元 悠加 さん



「春をみつけたよ」(絵)

船迫小学校2年

渡辺 凜子 さん

広 告

広 告

広 告

広 告

『プラスαの仕事を心がけています』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



高所作業車で防犯灯の交換作業を行う清野さん

株式会社畑山電気工業所

清野 久美さん(37歳)
せいの くみ

一般家庭の電気工事のほか家庭用エアコンの設置から店舗や工場、イベント会場の照明設備、太陽光発電設備の設計・施工を手掛ける株式会社畑山電気工業所の清野久美さんを紹介いたします。

学生時代にコンピュータのプログラミングやデザインを学んでいた清野さんは、先代の社長に声を掛けられて会社のホームページを作成していたことがきっかけで、平成12年に入社しました。当時は経理などの事務を専門に担当していましたが、電気工事や設備に関する知識がなかったため用語が全く分からず、書類や伝票を見てもまどろつたと言います。実際に施工現場に連れて行ってもらいながら仕事を覚えていく中で次第に電気工事に興味が湧き、15年前に電気工事士の資格を取得。現在は、事務以外にも設計や施工なども行い、町から受託している防犯灯の設置・修理を手掛けた件数は1,000件を超えるそうです。

「仕事が終わって、電気はついて当たり前。それに加えて、お客様に喜んでもらえたり、地域に貢献できたりといった『プラスα』の部分を大事にして仕事をしよう常に心がけています」と話してくれました。また、同業種の中で女性は少ないため、一般家庭の電気工事に伺つと「女性が来てくれて良かった」と女性のお客様から言はれることもよくあるそうです。

ご家庭では小学校6年生と4年生の男の子2人のお母さん。家族全員の共通の趣味はスノーボードで、2人のお子さんは、昨年開催された「希望郷いわて国体」のイベント事業として開催されたスノーボード競技会(大回転)で入賞するほどの腕前。全日本選手権にも出場し、将来のオリンピック出場を本格的に目指しているそうです。シーズン中は大会への遠征、シーズンオフでも仙台大学の施設を借りてのトレーニングなど、そのサポートに大忙しだそうです。

これからも、お客様のため、地域のため、そして家庭のために、その持ち前のバイタリティーで頑張ってください。

株式会社畑山電気工業所

柴田町船岡新栄2丁目3-3
TEL 0224-54-3088



昭和20年設立。家庭用・業務用電気工事のほか、イベント・展示会などの仮設電気工事、太陽光発電、オール電化などを手掛ける。従業員7人。

人口と世帯数
(平成29年6月1日現在)



38,111人
(前月比21人減)



19,082人
(前月比8人減)



19,029人
(前月比13人減)



15,610世帯
(前月比3世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。